



藤本 みのる 通信

Vol 397

2022年9月20日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠853

電話/FAX 0554-56-7272

保育園での使用済みおむつは公費処理すべきだ(一般質問)

今回の一般質問で、踏み込んだ答弁を引き出しました。

問(藤本) 保育園では使用済みおむつを保護者が持って帰るルールになっているのが、感染症対策としていかがなものか。布おむつ以来の習慣だと思われるが、排泄物を長時間保管し、保護者に持って帰ってもらう、しかも他の子のものが紛れ込む可能性があることについて、問題はないか。笛吹市では山梨県からの通知を受けて、4月から公費処理を実施している。大月市でも保育園の使用済みおむつは公費処理すべきだ。

答(課長) 昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考えますと、議員ご提案のとおり、保育現場で排泄物が付着した使用済みおむつを、園児ごとに仕分ける作業をする保育士の業務負担や感染症対策、また、保護者が自宅に持ち帰ることへの感染対策を検討すべきと考えます。改めまして、本市としては、保育施設の職員及び保護者への意向確認を実施し、使用済みおむつの処理に関する公費負担について検討してまいります。

問(藤本) 公立、私立、市内すべての保育園を対象に、使用済みおむつを公費処理した場合の概算費用はいくらになるか。

答(課長) 概算で120万円になります。

意見(藤本) 2019年9月定例会、私の一般質問への答弁で、市は国の幼児教育・保育の無償化により、市独自に行っていた保育料軽減が不要となり、2000万円余が浮くことを明らかにした。処理費は120万円。財政上も、まったく問題ない。速やかに公費処理を判断していただきたい。

コロナ感染症対策にみんなが取り組むなか—

◇疑問の声

乳幼児が使用した紙おむつを保護者が持ち帰ることに

しかも他の子のものが紛れ込むことがある…

①一般質問

「感染症対策として公費処理すべきだ」

②市が答弁

「感染症対策として検討する」

③財政論

費用については、新たな負担にはならないと主張

【藤本みのる活動日誌】

9月14日(水)一般質問(市議会本会議)

9月16日(金)総務産業常任委員会